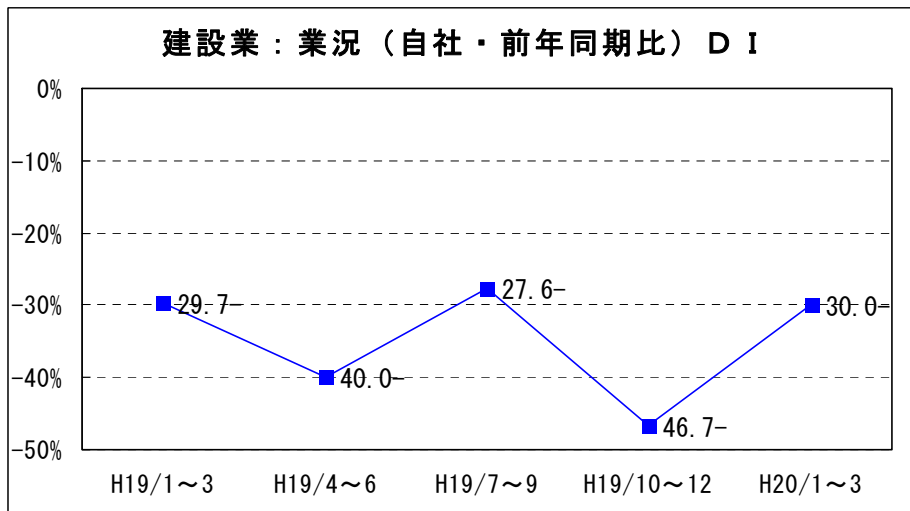


3. 建設業

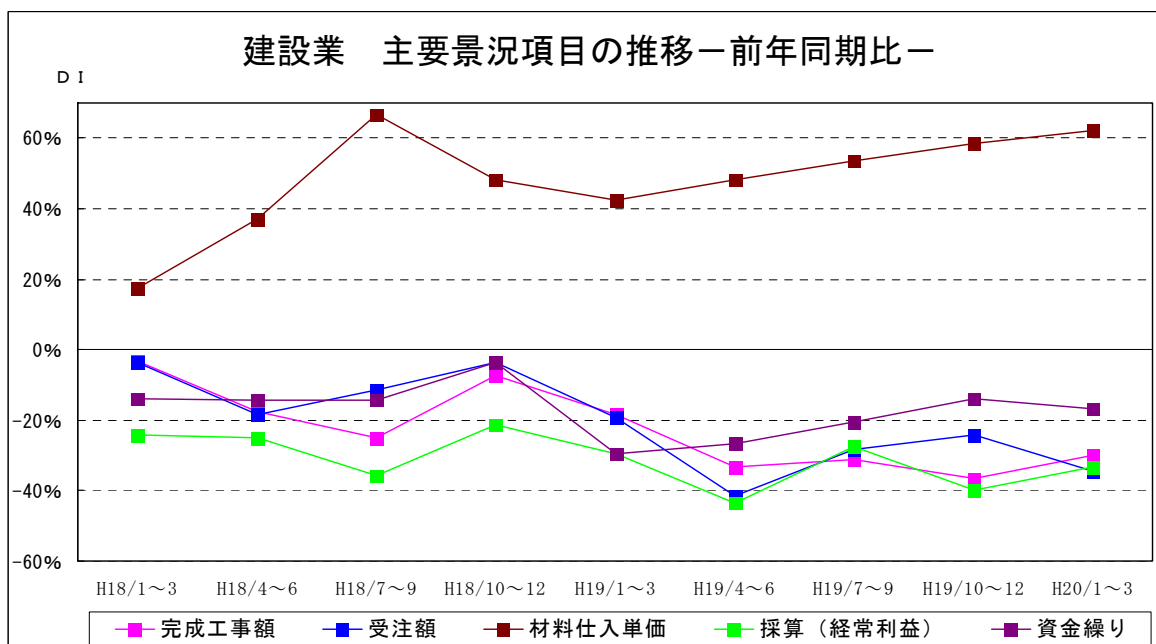
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス30.0。前期のマイナス46.7から16.7ポイント上昇、回復。来期見通しは、マイナス13.4とさらに回復の見込み。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

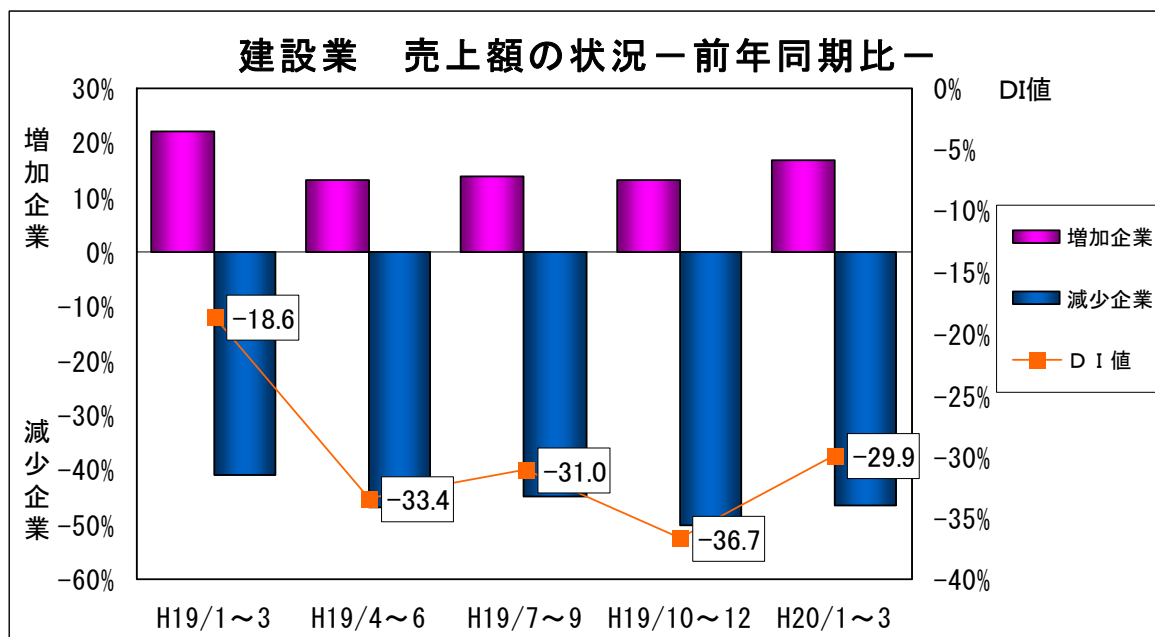
	前々期 (19年7月~9月)	前期(A) (19年10月~12月)	今期(B) (19年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲31.0	▲36.7	▲29.9	6.8	▲26.7
受注額	▲28.5	▲24.1	▲34.6	▲10.5	▲34.5
材料仕入単価	53.6	58.6	62.1	3.5	48.4
採算（経常利益）	▲27.6	▲40.0	▲33.3	6.7	▲33.3
資金繰り	▲20.7	▲13.8	▲16.7	▲2.9	▲16.7



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

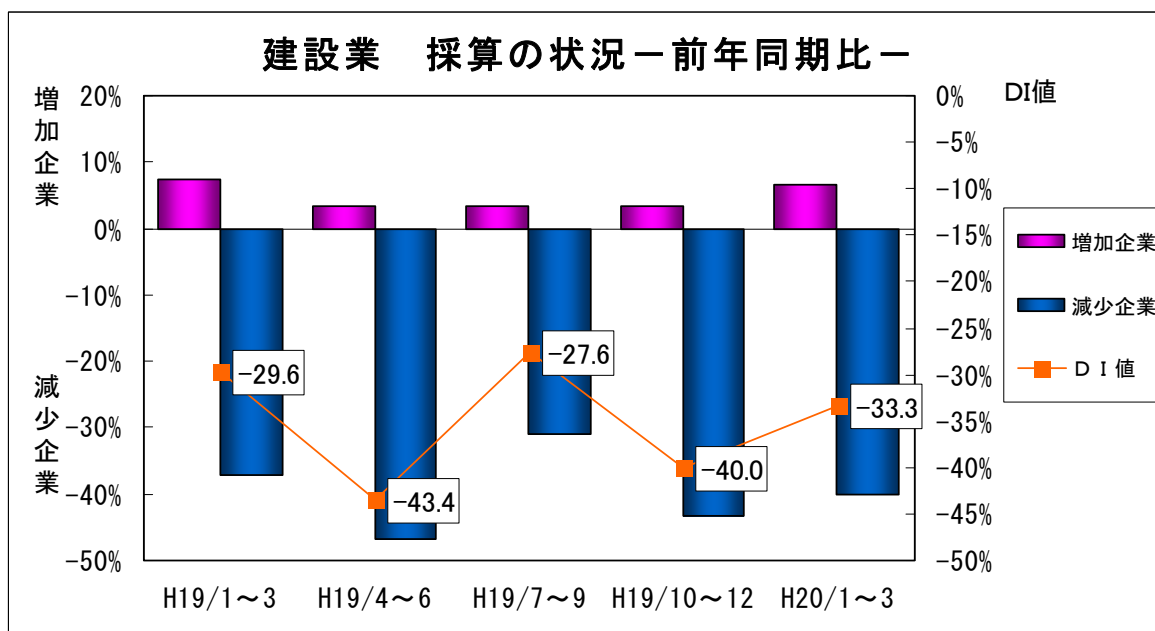
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I 値は、マイナス 29.9。前期のマイナス 36.7 から 6.8 ポイント上昇、回復。来期はマイナス 26.7 とさらに若干回復する見込み。



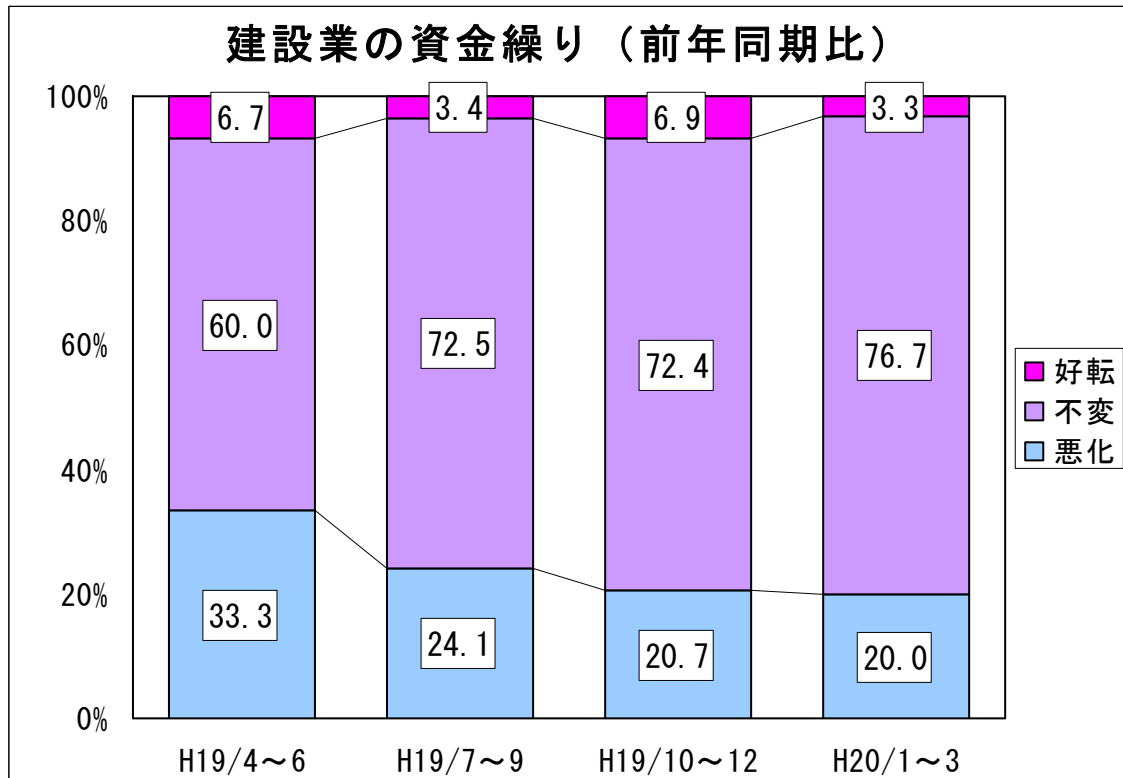
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 33.3。前期のマイナス 40.0 から 6.7 ポイント上昇、回復。来期見通しもマイナス 33.3 と今期と変わらず横ばいの見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 16.7。前期のマイナス 13.8 から 2.9 ポイント下降、小幅な悪化。来期見通しもマイナス 16.7 と横ばいの見込み。

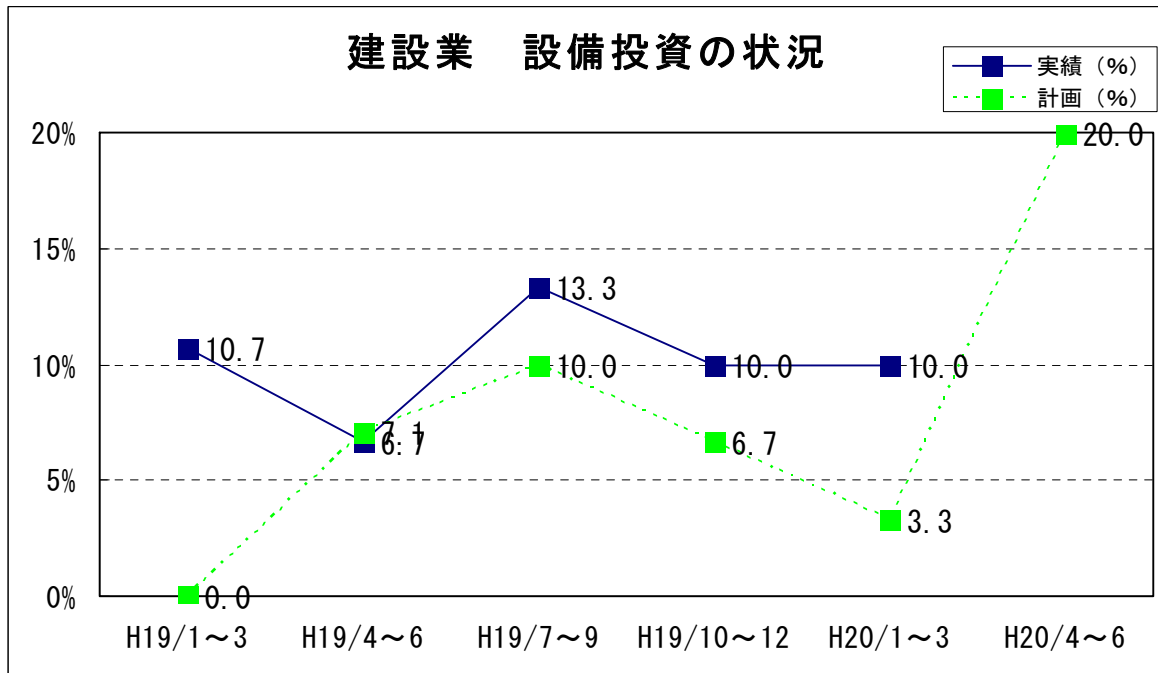


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	1	2	0	1	0	0	27
(%)	10.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	90.0
今期実施 (実数)	3	0	0	0	3	0	1	0	0	27
(%)	10.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	90.0
来期計画 (実数)	6	0	1	2	5	0	1	0	0	24
(%)	20.0	0.0	16.7	33.3	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	80.0

今期設備投資を実施した企業は 3 社 (10.0%)。前期 (平成 19 年 10~12 月期) の実施企業 3 社 (10.0%) と同じ横ばい。来期は 6 社 (3.3%) が、建物、建設機械、車両・運搬具、OA 機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、
「材料価格の上昇」 (前期 41% → 今期 52%)、
「民間需要の停滞」 (前期 45% → 今期 35%)、
「官公需要の停滞」 (前期 35% → 今期 35%)、
「請負単価の低下、上昇難」 (前期 31% → 今期 35%) となっている。

